

# Mémoire 2025

## 第55回 高松宮記念(GI)



## 6歳春にして待望のGI初制覇

大事に育てられてきた才能が、6歳にしてついに開花した。

6年ぶりに良馬場での施行となった春の短距離王者決定戦。前年の覇者マッドクール、スプリンターズS勝ち馬のルガルやママコチャといったタイトルホースを抑えて1、2番人気に推されたのは、どちらもGI勝利まであと一歩まで迫っている6歳馬、牝馬のナムラクレアと牡馬のサトノレーヴだった。

レースは直線、横に広がっての激しい追い比べとなった。逃げた京阪杯勝ちのビッグシーザーにルガルが並びかけ、その外からシルクロードSを制してきたエイシンフェンサーが、さらに外からオーシャンSで久々の勝利を挙げたママコチャが並んでいく。しかしそれらすべてをまとめて交わしたのは、この週から短期免許で騎乗するジョアン・モレイラ騎手が手綱を取るサトノレーヴだった。

J.モレイラ騎手が「直線が向かい風だったので、途中まで前に壁を作って、残り250mでスペースができてからしっかり反応してくれました」と明かしたように、この日の中京に吹いていた強い風の影響を考え、道中は一団となった先行勢の後ろを追走。直線で外に出されると、目の覚めるような末脚で一気に抜け出しての勝利となった。2着は直後から

連れて伸びたナムラクレアで、これでなんと3年連続の2着となった。

前年に函館スプリントS、キーンランドCと重賞連勝を飾りながら、スプリンターズSは7着、香港スプリントも僅差の3着とタイトル獲得に足踏みが続いていたサトノレーヴ。後肢の左右のバランスが崩れたことで2度の長期休養を挟むなど、大事に使われてきたため、6歳だがキャリアはまだこれが12戦目だった。

堀宣行調教師は「使おうと思えば使えたのですが、完全な状態での出走となるとやはり時間がかかります。理解していただいたオーナーのホースマンシップに感謝しています」とコメント。まさに関係者の我慢が実を結んだ、嬉しいGI初制覇となった。

### 第55回高松宮記念(GI)

3/30 中京競馬場 1,200m(芝・左) 晴・良 18頭

着順	馬名	性別	年齢	斤量	騎手名	調教師名	タイム/着差	人気	通過順位
1	サトノレーヴ	牡	6	58	J.モレイラ	堀 宣行	1:07.9	②	⑦⑨
2	ナムラクレア	牝	6	56	C.ルメール	長谷川浩大	3/4	①	⑬⑭
3	ママコチャ	牝	6	56	川田 将雅	池江 泰寿	1 1/4	⑥	⑨⑩
4	トウシンマカオ	牡	6	58	横山 武史	高柳 瑞樹	クビ	⑤	⑩⑨
5	エイシンフェンサー	牝	5	56	川又 賢治	吉村 圭司	1 1/2	⑧	⑤⑤

サトノレーヴ  
栄光の蹄跡

10

市場取引馬  
ロードカナロア  
115 S  
サトノレーヴ  
チリエージュ(サクラバクシンオー)  
2019.3.22生 日高・白井牧場



牡6  
鹿  
58  
J.モレイラ  
1983.9.26生  
里見 治氏  
堀 宣行(美浦)

2024.12.8 香港  
香港スプリントGI  
14ト 3(115)  
57% J.モレイラ  
芝1200良 1:08.2

2024.9.29 中山  
スプリンターズSGI  
16ト 1人 7(109)  
58% D.レーン  
芝1200良 1:07.4

2024.8.25 札幌  
キーンランドCGIII  
16ト 2人 1(113)  
57% D.レーン  
芝1200良 1:07.9